

# 第1回 若手プロジェクトリーダー研修 10期生プログラム概要

## 研修のテーマ

### 【本研修】

ステークホルダーとの関わりに改善点をみつけ、協働プロジェクトを成功に導く

## 研修のねらい

### 【通年】

- ・プロジェクトを客観的に捉え、成果を評価し、今後に向けた改善点を提案できる

### 【本研修】

- ・協力の方法を学び、自身のプロジェクトにおけるステークホルダーの選び方、連携体制の作り方を見直す
- ・それにより、具体的な改善点をみつけ、協働プロジェクトの改良を重ねていく方法を身に付ける
- ・フィールド実習の準備をすすめる

研修内容	研修のねらい
「協働のポイントを学ぶ」 <ul style="list-style-type: none"><li>・協力の力学を学ぶ(講義)</li><li>・架空事例で協働プロジェクトをつくる(グループワーク)</li><li>・自身の助成プロジェクトにおける協働体制に改善点をみつける(個人ワーク)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・共感性だけに頼らず、目的・目標達成に必要な多様なステークホルダーの関与をつくれるようになる。</li><li>・協働体制の改善を繰り返しながらプロジェクトを育てる方法を身に付ける。</li></ul>
「フィールド実習の準備」 <ul style="list-style-type: none"><li>・訪問先のお話を伺う</li><li>・協働の視点から訪問先で学びたいことを整理する。</li><li>・各自の学習目標・質問・事前調査事項等を準備する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・協働プロジェクトを客観的に捉え、評価し、成功のポイントを見つける力をつける。</li><li>・自身の助成プロジェクトの改善に役立つ学びを得るために必要な視点、準備すべきことを明らかにする。</li></ul>

## 期待する効果

### 【本研修】

- ・組織の内外を問わず、意見の相違に関わらず、多様な他者と協力関係を築くための「協働力」を高める
- ・自身の助成プロジェクトの改善点を発見し、助成終了後の自走化を成功に導く
- ・フィールド実習で協働力を養うための準備が整う

## 研修スケジュール

7/1(火) 【1日目】		
10:00～10:10	開会・事務連絡 ・研修の趣旨説明 ・講師、基金スタッフ等の紹介	地球環境基金
10:10～10:50	チェックイン ・研修生の近況 助成事業のこと・日常のこと等	池本 桂子氏
10:50～11:45	講義「協力のつくり方」 ・協力の力学、協力の種類 ・協力のプラットフォームづくりと評価 他	
11:45～13:00	昼食	
13:00～14:00	グループワーク「協働プロジェクトづくり」 ・2 グループに分かれる ・架空事例を基に協働のプラットフォームづくり ・発表と相互フィードバック	池本 桂子氏
14:00～14:10	休憩	
14:10～14:40	個人ワーク 「自身の助成プロジェクトの協働体制の改善」 ・フレームワークを使った関係者の役割整理・不足の補充	池本 桂子氏
14:40～16:10	個人ワークの発表と相互フィードバック ・発表 5 分 + 質疑・助言 5 分	
16:10～16:20	事務連絡・終了	地球環境基金

7/2(水) 【2日目】		
10:00～10:20	1日目の振り返り／午後の作業の説明 ・協働のポイント確認 ・フィールド実習の学習目標や質問整理シートの説明	池本 桂子氏
10:20～11:50	フィールド実習先からのプレゼンテーション ・ホールアース自然学校～茶畠再生プロジェクト ・訪問先や旅程の紹介	夫津木 学氏
11:50～12:00	質疑 池本から 協働の視点で整理	
12:00～12:30	質疑 10期生から	
12:30～13:45	昼食	
13:45～14:15	個人ワーク 「フィールド実習の学習目標・質問整理」 ・ワークシートの書き込み	池本 桂子氏

14:15～15:45	個人ワークの共有 ・ワークシートの内容をそれぞれ共有 ・10分×8人	
15:45～16:00	フィールド実習の準備・終了 ・データ共有・連絡方法確認 ・ゆるやかな宿題、中間共有など ・その他、事務連絡	池本 桂子氏 地 球環境基金

## 10期生研修 メンター

池本 桂子 氏 ／ (特非)協力アカデミー 理事

1998年、公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会に入職。会員対応やイベント運営を担当しながら、シーズ=市民活動を支える制度をつくる会の活動にも参加。環境NPOの立場で、他分野の団体と協力し、NPO法や寄付税制など市民活動全般の基盤強化・法制度づくりに関わった。

2010年からはシーズ本体に入職し、政策提言活動のバックオフィスを担当。2023年にNPO法人協力アカデミーを立ち上げ、とりわけ中小規模NPOの事業開発、協働・協創プラットフォームづくりをサポート。「協力のテクノロジー」の普及に努めている。



## 10期生研修 講師

夫津木 学 氏 ／ NPO法人ホールアース自然学校／cofiji

愛知県生まれ。地元の大学卒業後、地元の消防署で10年勤務。20代後半にアウトドア・スポーツの魅力にはまり、自然学校で働くため静岡に移住。

モットーは、「遊ぶように働く／遊ぶように生きる」。仕事として日々、アウトドアツアーや企画・実施しながら、自分なりの自然の楽しみ方を追求し、2019年cofiji(フィールド・リトリート)を立ち上げる。

富士山の大自然と里山、アウトドアと暮らし、アートと日常をつなぐようなツアーや研修を創出していくたいという思いで活動している。点と点をつなげて新しい星座を描くように、視点を広げ・つなげて、自然学校のスタッフとして世の中に対して新しい価値を生み出していくたい。



## 第1回 若手プロジェクトリーダー研修 11期生プログラム概要

### 研修のねらい

#### 【通年】

- ・事業やプロジェクトの目標達成に向けた適切な戦略を策定できる
- ・事業・プロジェクト推進上の課題を特定し、適切なアクションを検討できる

#### 【本研修】

テーマ:NPO 経営戦略の理解と目標設定と取組み課題の抽出

- ・NPO の経営戦略の基本的なポイントを理解する
- ・事業や活動、プロジェクトの目標設定と実現に向けた取組み課題の抽出方法を理解する
- ・目標達成と課題への取組みの方法を、参加者間の共有と学び合いから、相互のエンパワメントにつなげ、実践内容をブラッシュアップする

### 期待する効果

- ・事業やプロジェクトの目標達成に向けた戦略策定の基本的なポイントと策定方法を理解し、戦略が策定できるようになる
- ・事業やプロジェクトを進める上で生じる課題の分析と特定方法、優先順位づけ、課題解決に向けた取り組み方を知り、アクションの検討と実践ができる
- ・上記により、戦略に基づく実践につながり、実践のプロセスや PDCA を回していくことで、期待される結果や成果、新たな課題の発見や教訓を得ることにつながる

### 研修スケジュール

7/9(水) [1日目]		
10:00～10:05	開会・事務連絡	地球環境基金
10:05～10:20	講師自己紹介、研修の目的とゴール、流れの説明	河合 将生氏
10:20～11:10	チェックイン 参加者自己紹介、本研修に期待すること	
11:10～12:30	講義「NPO の経営戦略」とミニワーク	
12:30～13:30	昼食	
13:30～14:30	講義「目標設定と課題抽出」とミニワーク	河合 将生氏
14:30～16:00	個人ワークと相互フィードバック、質疑応答、個別相談	
16:00～16:25	チェックアウト	
16:25～16:30	事務連絡	地球環境基金

16:30	終了
-------	----

7/10(木)[2日目]		
9:30～9:35	開始・事務連絡	地球環境基金
9:35～10:00	チェックイン	
10:00～11:00	講義「戦略・計画づくり」とミニワーク	河合 将生氏
11:00～12:00	個人ワークと相互フィードバック、質疑応答、個別相談	
12:00～13:00	昼食	
13:00～15:15	個人ワーク、発表と相互フィードバック、個別相談(続き)	
15:15～15:30	休憩	河合 将生氏
15:30～15:55	チェックアウト	
15:55～16:00	事務連絡	地球環境基金
16:00	終了	

## 11期生研修 メンター

河合 将生 氏 ／ NPO 組織基盤強化コンサルタント office musubime 代表

2011年7月、office musubime（オフィス ムスビメ）を設立。伴走支援を専門としながらNPOの組織基盤強化、組織診断・評価、ファンドレイジング支援、プロジェクト運営・協働コーディネート・ファシリテート等の役割を担う。

NPOの伴走支援は、助成金等を活用した外部／第三者のコンサルタントとしての関わりから、団体の個別支援、外部理事や監事、アドバイザーとしての関わりもあり、コミュニティ財団や中間支援組織、フリースクールや子ども支援・子育て支援、まちづくり、国際協力分野のNPOなど、複数のNPOに役員として参画している。また、寄付アドバイザーとして、寄付先の選び方や寄付を募集している団体・活動と寄付者をつなぐウェブページへのコメント執筆やメディア等の取材対応なども行っている。その他、日本ファンドレイジング協会関西チャプター共同代表／認定講師、日本評価学会認定「評価士」。大学の非常勤講師として「NPO・NGO論」「ボランティア論」「国際教育援助論・平和構築論」「SDGs論」「脱炭素社会論」などを担当している。

